

NISHIMURA
FOUR SEASONS

2022.1.31 WINTER
Vol. 186



あなたの夢は？

代表取締役
西村 幸浩



明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては令和4年の新春を、希望と期待をもって迎えられたことと拝察いたし、ここに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

令和3年は、延期されていた東京オリンピック・パラリンピック日本選手団の活躍など明るい話題があった反面、長引く新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が頻発し、少なからず皆さんの生活、日本の経済活動へ暗い影を落としました。そのような中、地域住民の皆様にも少しでも貢献できればと思うので、西村組職域接種の実施へ向けて多くの従業員の協力を得て計画や準備に多くの時間を費やし、なんとか実施にこぎつけました。実施に当たりご協力いただいた関係者の皆様、従業員の皆に改めてお礼を申し上げます。

日本国内の総人口に対するワクチンの接種率は78%を超え、日々の感染者数も減少し好転する兆しが見えてきたところに、オミクロン株という新種ウイルスが登場し、感染の波に右往左往させられて多くの人々に精神的なダメージを残して

います。

平成28年に内閣府は「日本再興戦略2016」を公表しました。5年前に公表されたもので、一読された方も多いとは思いますが。この中で、第4次産業革命について大きく取り上げられています。第4次産業革命とは、IoT・ビッグデータ・人工知能・ロボットなどの技術革新によって産業や社会構造の転換を図ろうとするものです。これより前には、国土交通省が建設現場の生産性向上を目的とした「i-Construction（アイ・コンストラクション）」という取り組みを進めるとの発表があり、建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計から、施工、さらに管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした新基準を導入するとしています。これからは、3Dマシンコントロールなどを使った情報化施工や、構造物の3次元モデルを使って設計・施工を行うCIM、ドローン（無人機）やロボットを使った構造物の点検・補修など、様々なICT（情報通信技術）関連の設計・施工・維持管理技術への導入や開発が進められていくことになります。これらの技術を統合した「i-Construction」を推進すること、全体として技能労働者一人当たりの生産性について、将来的に5割向上の可能性があると予測されていました。

時は流れ2022年（令和4年）となりました。実際の生産性についてはどうでしょう？「日本再興戦略2016」か

ら5年が経過しました。変化の実感はあるでしょうか？変わったと言えば「働き方改革」による労働時間と労働日数の減少くらいではないでしょうか？生産性が変わらず労働時間が減少するようになるか・・・誰しも想像できると思います。

最近26歳の女性がSNSで放った言葉を紹介します。「言われたことを言われたままやるのは仕事ではなく作業。言われたこと以上をやったり言われる前にやって初めて仕事。」この言葉は心に深く刺さる気持ちがありました。仕事を行う上でとても大切な意識だと思います。

ここから先の建設業界は、すこぶる時化しています。大波が次々とやってきます。乗り越えることが困難な波や、波をかぶっても耐えることが必要な状況も生まれる事でしょう。しかしながら、私には明るい未来がはつきりと見えています。ここ数年の間で会社の理念が形となり浸透し始めています。建設業の実態を見据えながら、我々は一歩足を踏み出す勇氣を持っています。我々は己の意識を改革し、前進する推進力を持っています。

先日、朝礼で「皆さんの夢は何ですか？」と唐突に聞いてみました。ほとんどの回答はプライベートなものでしたが、夢は何かと聞かれたときに、会社のことが皆の口から自然に出るよう、西村組に夢が持てるよう、令和4年の私の目標としたと思います。

我々が住む日本には、色とりどりに表情を変える“季節”という自然の贈り物があります。

それを五感のすべてを使って体いっぱいを感じることに、さらには人間にとって一番大切な“心”で感じられることはとても素晴らしいことでもあります。

当社を支えてくださる皆様が、いつまでも健康で心豊かであること、願いをこのタイトルにこめ、西村組の“姿”を“季節”ともにお伝え致します。

あなたの夢は？

代表取締役 西村 幸浩

2

西村組が開発した【魚礁ブロック移設工法】が 特許登録されました！

11

西村組年末年始活動報告

4

安全環境管理部NEWS

11

災害発生時の緊急対策本部の連絡訓練実施

6

経営企画部NEWS 採用と、チームと…

11

令和3年度 新入社員現場視察研修会

6

NISHIMURA HOTLINE

12

現場紹介

8

網走地区(登栄床漁港)

水産物供給基盤機能保全工事外

現場代理人 鈴木 純平

元稲府漁港 北防波堤改良その他工事

担当者 花田 樹

興部地区(沙留漁港)水産流通基盤

整備工事(特定)外(補正)(繰越)

現場代理人 笹岡 広道

年男・年女 ————— 12

入社して半年が経ちました ————— 14

船員安全・労働環境取組特別賞を受賞しました — 14

湧別中学職場体験 ————— 15

網走建設管理部 優秀現場代理人表彰 ————— 15

INFORMATION ————— 15

親睦会だより

建設業年末年始労働災害防止強調期間

令和3年12月1日～令和4年1月15日

無事故の歳末 明るい正月

西村組 年末年始 活動報告

安全環境管理部

建設業における労働災害は、長期的には減少傾向にあります。が、昨年11月末現在の速報値を見ると、全国の建設業における死亡者数は243人で前年同期比21人増、休業4日以上以上の死者数は13,502人で前年同期比1,150人増となっています。

また、道内においても死亡者は18人で前年同期比7人増、休業4日以上以上の死者数は、802人で前年同期比79人増となっています。死傷者の事故型の内訳では墜落・転落252人で最も多く、次いで転倒93人、はさまれ・巻込まれ92人となっております。墜落・転落、転倒事故が全体の約43%を占めています。これからの北海道は一段と気温も低下し、積雪期を迎えることから冬型災害の発生、増加が大変心配されます。

建設業では、年末年始にかけての2か月間は工事の追い込み期と重なり労働災害の多発が危惧されることから、毎年12月1日から1月15日までの期間を「建設業年末年始労働災害防止強調期間」と定め、労働災害防止の徹底を図るための運動を展開します。

今年度も「無事故の歳末 明るい正月」をスローガンに展開



安全パトロールの様子

し、経営トップ、店社及び建設現場の管理者等の関係者は緊密な連携を図り、安全衛生水準の一層の向上を目指し、労働災害防止活動の強化に努めるものとしています。

強調期間中の実施項目は、①経営トップ等による現場点検 ②墜落・転落災害の防止 ③建設機械・クレーン等災害の防止 ④倒壊・崩壊災害の防止 ⑤交通労働災害の防止 ⑥火災・爆発等災害の防止 ⑦転倒災害の防止 ⑧不安全行動による災害の防止 ⑨公衆災害の防止 ⑩積雪・雪崩災害の防止 ⑪作業所閉所中の保安対策 ⑫職業性疾病の防止 ⑬化学物質に関するリスクアセスメントの実施



⑭現場におけるメンタルヘルス対策の推進 ⑮健康障害防止対策の充実の15項目となっています。

西村組では、毎年「建設業年末年始労働災害防止強調期間」の一環として「経営首脳による安全パトロール」を行っています。今年度は昨年の12月24日(金)に、川合取締役、加茂谷執行役員に女性社員の清水主任、佐藤係員の2名も加わり計4名で、雄武幌内地区コムケ湖養殖場補



修工事(ゼロ国債)、興部地区(沙留漁港)水産流通基盤整備工事(特定)、元稲府漁港北防波堤改良その他工事の3現場のパトロールを行いました。今回は「墜落・転倒災害の防止対策」「建設機械・クレーン等災害の防止対策」「転倒災害の防止対策」「不安全行動による災害の防止対策」に重点をおいた現場点検と普段の安全指導状況について備え付け書類を確認しました。



墜落・転落災害の防止対策では高所作業における手摺の設置やフルハーネス・墜落制止用具使用の確認、海上作業での海中転落防止対策としてライフジャケットの着用や救命浮環等の設置状況などを確認。建設機械・クレーン等災害の防止対策では、作業計画書の作成と計画書とおりの作業が実施されているかの確認、ワイヤー等吊り具の点検、立入禁止措置が講じられているかの確認。転倒災害防止全行動による災害防止対策では、適切

な保護具の着用、危険物の取扱状況、現場・事務所内の整理整頓、危険予知活動・ヒヤリハット運動の実施状況などを確認しました。

パトロールの講評として、川合取締役からは、高所作業が予定されている現場では転落防止措置の徹底や昇降設備の設置をしつかり行うこと、搬入された発電機等の吊りワイヤーについてもしつかり目視点検を行うこと、救命浮環は作業場所近くへ移動しておくこと等の指示がありました。加茂谷執行役員からは、鋼製の設備や敷鉄板上は降雪や凍結等により滑りやすくなるので、転倒防止措置の徹底を図ること、車両内においても整理整頓しておくこと等の指示がされました。女性社員からは、通路上の流木や大



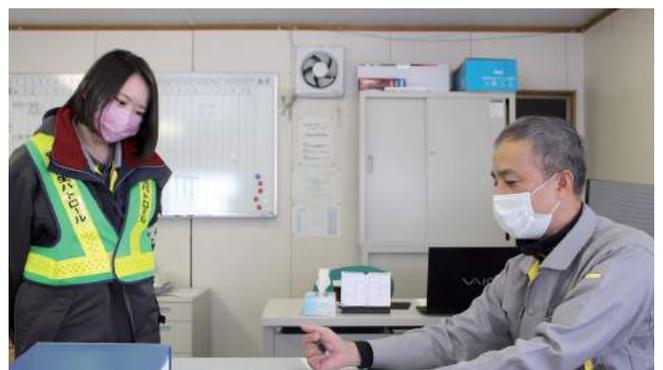
きな石の撤去、アセチレンボンの固縛についての指摘がありました。冬期間は厳しい条件下での作業となりますので、いつも以上の注意をお願いします。

今年度も残り2か月間となりました。これからも寒さが一段と厳しくなりこの時期特有の冬型災害に対して対策が必要となります。転倒災害防止では、敷地内の安全通路を指定し、段差や凸凹、突起物、つなぎ目等の蹴く原因の改善及び除雪や融雪剤散布によりすべり止め措置を講じること。高所における除雪作業対策では墜落制止用具の使用と雪下ろし場所周辺への立入禁止措置を講ずること。交通安全労働災害防止対策では冬道運転時の路面状態および天候変化の確認、スピードの出しすぎに注意や十分な車間距離確保など危



険を予測しながらの運転が求められます。一酸化炭素中毒防止対策では屋内作業場など自然換気が不十分な場所においては内燃機関を有する機械を使用しないこと。屋内で練炭、ジェットヒーター等を使用する場合は関係者以外の立入を禁止するとともに、関係者が立ち入る場合は有資格者の指示の下で十分換気を行い酸素および一酸化炭素濃度を測定した後でなければ立ち入らないなどの対策が必要です。

このような災害を起こさない、遭わないためにも各作業所では所長の現場巡回指導を重点的に行い、天候の情報に注意を払い、少しでも危険の芽を摘み取り災害を防止することが重要です。今回の運動を契機に引き続き無事故無災害で作業にあたってくださいと思います。



災害発生時の緊急対策本部の連絡訓練実施 安全環境管理部

令和3年11月30日(火)に、災害発生を想定した緊急対策本部連絡訓練を行いました。

当日午前10時頃に北海道で震度7の地震が発生、津波警報が発令されたという事態を想定し、使用可能な通信手段は「電話(携帯電話含む)、インターネット」という条件で行いました。

地震発生と同時に、本社3階大会議室に緊急対策本部を立ち上げ、西村社長が本部長、加茂谷安全環境管理部担当執行役員が副本部長、その他各部担当役員・部課長のほか、札幌支店ともビデオ会議を繋ぎ、全16名が集合しました。

訓練は、第一に社員・従業員の安否確認、第二に各現場・船舶・施設の被災状況確認を行い、工事は各現場、船舶機材部は各作業船、総務部は本社・紋別支店・営業所のほか各施設、札幌支店は支店社屋のほか札幌誠和寮、営業部は関係各所との連絡対応、そして安全環境管理部は社員・作業員の安否確認と全体の情報の取り纏めを担当しました。

安否確認については、災害発生と同



時に198名の社員・従業員への安否確認メールが発信され、目標の10時30分には196名の応答があり、残り2名についても目標時間から5分以内には安否が確認できました。また、被災状況の確認についても各部の連絡体制により進められ、こちらも11時前には完了しました。

オホーツク地方は主要な活断層がないことから、比較的安全な地域と言われています。

しかし、地震の影響による津波発生懸念があるほか、津波災害による影響が大きいと予想される太平洋側での作業船の稼働も多く、決して他人事ではありません。

今後に向けては災害発生時の備蓄品・応援物資の用意や、いろいろな災害状況を想定した訓練を重ね、よりスピーディーな対応を目指したいと考えています。

令和3年度 新入社員 現場視察研修会

令和3年10月18日から10月20日までの日程で、新入社員による現場視察研修会が開催されました。今年度は工事部、総務部、安全環境管理部から合計7名が参加して、3日間で11箇所の現場を視察しました。参加者は初めて見る現場に驚きつつも、現場担当者に積極的に質問し、少しでも知識を吸収しようとする姿勢が窺いられました。また、普段は接点が少ない現場担当者とのコミュニケーションをとる貴重な機会にもなりました。

後日、研修会に参加した感想や会社に対する提案を発表するプレゼン大会が行われ、新入社員からより働きやすい会社にするために考えられた素晴らしい提案が発表されました。

最後に、現場担当者の皆様には説明用の資料作成や、当日の現場での対応にご協力いただき、ありがとうございました。



工事部 石田 尚輝

10月18日・20日の3日間、現場視察研修に参加し、様々な現場を見てきました。

研修に行く前は、日常の業務では自分の担当現場以外を見る機会がなく、他現場ではどのような工事が行われているのか想像できませんでした。今回の研修を通して、西村組が行っている仕事について理解を深めることができ、様々な工法・測量や管理業務など自分がまだまだ知らないことにたくさん触れることができましたので非常に良い機会だったと思います。また、研修で学んだことを日常の業務に活かして、技術者として成長していきたいです。



工事部 堀 一久

現場を視察して改めて西村組の現場施工数と人材の多さに驚きました。各現場は、安全施設が整い、安全管理がしっかりされ、また、現場ごとに取り組みとしている工夫、安全対策・施工方法・仮設計画など参考になるところが見られて良かったです。現場で働いている人達は、ほぼ西村組直営の方々に施工している現場が多くて、色々な職種(運転業務・型枠作業・土工作業・潜水作業・ポンプ車等)に対応できる人材が整っていることにも驚き、改めて西村組の技術力及び総合力の高さを確認することができました。

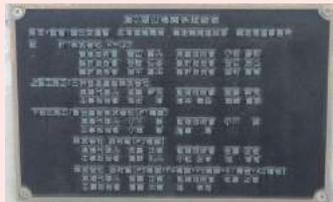


工事部 佐々木 正倫

自社施工の多数の現場を視察し、改めて会社規模の大きさを感
じることができました。普段は
は、自身が従事している現場の
事を把握する事で精一杯、実際
に施工している他現場をみる機
会はないです。社内の工事情報
にて、設計図書を開覧できるよ
うになっており、1番最初に目
につくのが工期、請負金額で
す、次に発注図をスライドシ
ョーぐらいの感覚でみる程度
です。

『現場視察研修会』はとても
勉強になる社内行事です、自
社施工の多数の現場を視察し
たら「一次現場をやる時は、あ
の現場のあれを真似しよう」と
思える現場が多数ありました。

大変な現場と感じたのは外
海の現場です、自身は昨年
に引き続き浜佐呂間漁港(サ
ロマ湖内)を施工しますが、
昨年と大きく違う気象条件
が二つあります。一つ目は、
強風日数が多いこと、二つ
目は、サロマ湖内が濁る日
が多いことです。サロマ湖
内で施工していても、気象
条件が大きく二つも違うの
に外海現場に従事している
皆さんは、もっともつと大
変だと感じました。



サロマ湖第2湖口橋歴板
関係技術者の氏名が刻印

工事部 森田 智恵

3日間現場視察研修に参加
してもらったのは、一緒に参
加した若い方達の礼儀正し
さと、コミュニケーション能
力の高きです。挨拶ができ
、年上・目上の方とも堂々
と会話ができ、自分の意見
も伝えることができる。良
い意味で、熱かったり冷め
ていたり、ともうまく人との
付き合いができる人達だ
なと思いました。

そんな皆さんと3日間過
ごし、できるならば精神は
今のままで、肉体だけ30代
前半に戻りたい...と切に
思いました。

昨年1年を振り返ると、と
ても濃厚な1年でした。自
分の中では「挑戦」の1年
でした。これからも年齢に
見合った挑戦を続けたい
と思います。

1年間、関わってくださ
った皆様には感謝してお
ります。ありがとうございました。



総務部 高野 めぐみ

とにかく楽しかったです!!
初めて見る現場や、船など
ただ「すごいな」「大きい
な」と驚き「何のための工
事なのか」とか、どうい
う方法で工事を進めてい
くか?など普段なかなか
知ることのなかった事を
教えてもらい勉強になり
ました!「棧橋って何?何
に使うの?」という疑問
も解決しました!

ただちょっと後悔してい
るのが、もっと自分から質
問してみたり、もっと各
現場の写真を撮ったりす
ればよかったな...と思
いました。

各現場の皆さん・旭さん
・幸志郎さん・一緒に研修会
に参加したみなさん、あ
りがとございました!



総務部 加藤 智乃進

湖や海の現場を初めて生
で見ると、私は工事の規
模の大きさや組み立てら
れた型枠の美しさに驚
く単純な反応をしている
中、佐々木正倫さんは「良
い設計だね!」ともしっかり
と感動している場面も
ありました。現場視察に
行った後は、伝票を打
つ際の理解が早まりました
。今まで「誰さんど
この現場だろ?」と考
えていたところで、「この
人だからココ!」「この
人がココね、うん、いた
いた!」という風に想像
し易くなりました。現
場の方と顔を合わせる
貴重な機会であることを
確信しました!

一緒に研修を受けてくれ
た皆様、スケジュールを
調整していただいた皆
様、幸志郎さん、旭さん
、ありがとございました!



安全環境管理部 佐藤 朱夏

普段からパトロールで
現場にお邪魔することが
多いのですが、今回の
研修は「今までは『安
全』に注視しすぎて
気づけなかったけれど
、現場には知らない
ことがまだまだある
な」と再認識する
きっかけになりました。

また、普段はなかなか
行く機会のない釧路
にも行って、船内を見
学したり、あまりお
話できなかったが
、菊地所長とたく
さんお話をできた
り、とても貴重な
経験ができました
。今回の学びを糧
にして、さらに安
全な現場づくりに
寄与できるように
頑張りたいと思
います。受け入れ
てくださった現
場の皆様、引率
して下さった旭
さん・幸志郎さん
、この度はこの
ような学びの場
を設けて下さり
、本当にありが
とございました。



現場紹介



発注者／網走建設管理部

受注者／(株)西村組

受注金額／190,542千円 令和3年12月現在

工期／令和3年6月2日～令和4年3月22日

工事概要／登栄床漁港

・-2.5m物揚場 L=89.2m 岸壁拡幅
土工一式、本体工【鋼矢板式】一式、上部工一式、
舗装工一式、排水構造物工一式、構造物撤去工一式、仮設工

湧別漁港

・-2.5m物揚場 L=31.2m
本体工【場所打式】一式、上部工一式、舗装工一式、
付属工一式、構造物撤去工一式



網走地区(登栄床漁港)
水産物供給基盤機能保全工事外

本工事は、湧別町における漁業活動の拠点ともいえる、登栄床漁港・湧別漁港の維持修繕工事になります。海明け後の3月下旬から毛ガニ漁が始まり、5月には春の一大イベントであるホタテの稚貝放流が行われます。放流された稚貝は自然の中で大きく成長し、その3年後に水揚げされます。冬期間は、牡蠣の養殖など一年を通して漁業活動を行っている漁港になります。

登栄床漁港の2.5m物揚場は、昨年度工事とは別の老朽化した岸壁、全延長約90mを取壊し、新たに岸壁の拡幅を行うものです。拡幅は老朽化した岸壁の鋼矢板の前面に新たに鋼矢板の打設を行う鋼矢板式の岸壁となります。拡幅工事行っている期間、岸壁を使用できない状態では漁業活動へ大きな支障が出るため、全延長の約半分を先行して完成させて引き渡し、その後残り半分の施工することで漁業活動に支障を与えない工夫をしつつ工事を進めています。



現在は、半分の開放が完了し漁船の上架等、漁業者の使用を確認でき安心しております。気を緩めることなく、残り半分の完成へ向けて施工を進めております。

湧別漁港の2.5m物揚場は、係船する漁船の形状や型式の変化に合わせて、岸壁の構造を合わせないと係船が困難な状態で、改善すべく拡幅を行っております。全延長約160mの岸壁のうち残り約30mを今年度工事で施工して全延長完了となります。拡幅は登栄床漁港とは違いコンクリートポンプ車による水中コンクリートの打設を行う重力式の岸壁となります。漁業活動の最盛期が終わった11月頃から施工を開始し、順調に施工が進んでおります。

全体を通して、両漁港とも工事と隣り合わせて漁業活動が行われている中、漁業組合・地元漁師の方々の協力のもと工事を行っております。特に、漁船の移動等の難題がありました。漁港内の漁師さん同士で調整していただけた結果、大きな遅延も無く進めることができいております。発注者、漁業関係者の皆様、関係業者の皆様、地域住民の皆様方の御理解と御協力のもとに工事を行っており、大変感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また、災害無く工事完了を目指し日々の現場管理を行って参ります。残りの期間もよろしくお願ひ致します。

現場代理人 鈴木 純平



発注者／網走開発建設部
 受注者／㈱西村組
 受注金額／412,500千円
 工期／令和3年6月26日～令和4年1月21日
 工事概要／北防波堤（改良）
 構造物撤去工 消波工 基礎工 一式
 船揚場（改良）
 構造物撤去工 床掘工 袖護岸本体工 袖護岸上部工
 付属工 裏込・裏埋工 舗装工（張ブロック・船揚場・止壁）
 道路（改良）
 アスファルト舗装工
 駐車場（改良）
 土工 アスファルト舗装工 付属施設工
 -3.5m岸壁
 構造物撤去工 床掘工 本体工 上部工
 裏込・裏埋工 舗装工 付属工

元稲府漁港

北防波堤改良その他工事



元稲府漁港では防波堤改良工事、駐車場改良工事、船揚場改良工事、岸壁改良工事という多数の工種が進行する現場となっております。

特に防波堤改良工事では破損した取水口の撤去、既設ブロックの撤去、中割石投入による流速の低減対策、消波ブロックの新規製作等、陸上と海上に分かれた大規模な工事でした。

海上作業ではブロック撤去、中割石投入用の起重機船と荒均し用のバックホウ船をメインとして作業を行いました。作業の効率化のためUAVでの中割石検収、3次元超音波ドップラー水底地形探査装置を応用した海底測量、マシンガイダンスを用いたの均し高精度、GPSを使用したブロック据付、GICAMを使用しての他航行船舶の監視等の多数のICT技術を用いたの施工を行うことで時化や漁港内の混雑にも問題なく海上施工を終えることができました。陸上作業では180個も

の六脚消波ブロック製作に当たりヤード内のブロック仮置き場の綿密な検討を行い、実作業においては型枠組立、打設、脱型、転置のサイクルを途切れさせないよう普段の打ち合わせを密に行い施工していきました。

駐車場改良工事においては施工上、広範囲にわたり複雑な法面整正を多数の既設構造物に配慮しながら行わなければなりませんでしたが、マシンコントロールシステムを搭載したバックホウを使用することにより施工精度の向上と施工時間の短縮を実現し、施工を終えました。

船揚場改良・3.5m岸壁改良では施工箇所周囲に汚濁防止フェンスを設置し周囲の環境に配慮した施工を行っていきます。既設部分の取壊し作業においてはバックホウ船を併用し作業効率の向上を図りました。水中コンクリートの打設ではケーシングパイプを用いて行いコンクリートの材料分離を防ぐとともに水中汚濁を防止しました。

全体を通して多数の工種が同時に進んでいく工事であり非常に多忙な工事となっていました。新技術の活用や現場の従業員、協力会社の団結と雄武漁業協同組合、発注者様の深い理解を得る事ができ工事の佳境を乗り越えることができました。関係者各位にはこの場を借りて感謝申し上げます。

現在、工事はすべて完了しており特段の事故や違反もなく安全な施工を行い、元稲府漁港に貢献することが出来たと思います。

担当者 花田 樹



発注者／網走建設管理部
 受注者／西村・西江・小針 特定建設工事共同企業体
 受注金額／406,560千円
 工期／令和3年3月24日～令和4年3月10日
 工事概要／東護岸(新設) L=40.0m
 海上地盤改良工 1式 基礎工 L=40.0m
 本体工(場所打式) L=40.0m
 被覆・根固工 1式 上部工 L=40.0m
 消波工 L=49.1m 構造物撤去工 1式
 -4.0m航路 浚渫 A=4,030㎡ V=4,291㎡



興部地区(沙留漁港)水産流通基盤 整備工事(特定)外(補正)(緑越)



沙留漁港は、紋別市と興部町の中間にある港口が南東側を向いた漁港です。紋別市から北に真っすぐに進むオホーツクラインの海岸線に突然飛び出たポコっとしたのが沙留岬。沙留漁港は、そのひょっこり飛び出た東側の根元に位置しています。

沙留漁港から岬までは、ゆるいカーブを描きながら凸凹の岩礁地帯があり、沖側に黒い破線のように点在している構造物が見えます。これは1月終わり頃からやってくる流氷からコンブやウニを守るために、流氷が海岸線に上陸しないようにせき止める目的で30年以上前に設置された防水堤であります。海水浴場の駐車場から現場を見渡せることができるので海状況がどうなっているかを確認するために来た時、沖合にある防水堤を見て、入社した頃のことを思い出した。また、沙留岬には、沙留海水浴場があり宿泊可能な海の家もあり、海水浴を楽しみながらキャンプ等のアウトドアも一緒に楽しめる場所

があります。

本工事は、東護岸の荷揚げ用地を拡張するために、東護岸から沖側に40mほど行ったところに護岸を設置する工事で、まずは土砂を掘削して中割石を紋別港から起重機船で海上運搬を行い、割石を海上投入し天端を平らに均します。その上に大きな型枠を起重機船で設置します。型枠内にコンクリートを運搬するために、海上フロート配管をセットしてコンクリートポンプ車により水中コンクリートを型枠内に打設し順次延ばして行き囲います。その後には大波で壊れるのを防ぐために消波ブロックを設置していく工事です。今年度は、大きな時化もなく無事に作業を進めることができ作業は完了しています。竣工検査に向けて書類整理をしています。沖側への拡張工事は、来年でようやく赤灯台に到達し6年越しの工事になり、埋立工事も進んでいます。ただいま当漁港では、ホタテ・秋鮭漁などの水揚げ作業が終了し、流氷がやって来る季節に突入するので漁船の上架作業が始まり全船上架作業を終了し漁港には一隻もいなくなりガラんと静まりかえり、春の海明けまで休業冬眠となっております。

今年も無事に無事故無災害で工事を竣功することができ現場従業員・協力業者一同、ホッと肩の荷が降りたところです。

現場代理人 笹岡 広道

西村組が開発した【魚礁ブロック移設工法】が特許登録されました！

コメント：工務部課長 金井竜二

執筆：安全環境管理部 佐藤朱夏

特許第6936490号 名称「水中物体回収方法およびこれに用いるスケルトンバケット」



地元の湧別漁業協同組合様から相談を受けて始まった研究がようやく認められて、西村組一同感動で胸がいっぱいです。詳しい開発秘話やエピソードはホームページをご覧ください。

実際に事業化にもつながり、昨年度までは湧別沖、今年度は頓別沖で施工しています。これからも国・地域のひとと産業を守る建設会社という存在意義を忘れることなく、さらなる技術の発展に努めていきます。

開発者代表インタビュー

Q. 今回の率直な感想を聞かせてください。

率直に、嬉しいですね。2001年に、特許を取得していましたが、特許証に自分の名前が載ったのは今回が初めてです。額に入れて家に飾らないとって思っています(笑)。

Q. 特許の取得には新しい物を生み出す発想力が不可欠だと思いますが、アイデアを思いつくコツはありますか？

「どうすれば仕事になるか」を考えることだと思います。そしてそれを改善する方法を探し、行動する。今回の特許取得に際しても、既製品に満足せず、メーカーと協議して新しい道具を作っていたことが、より効率的に作業を行うことができた。当社は「なぜできないんだろう」と疑問を持ちたり、改善しようと工夫したりする人が、まだまだ少ないと感じます。不満があっても「こういうものだ」と受け入れて、商品そのものを変えようとはしない……。ただ、それじゃ「フツウ」ですね。当社では令和3年度の経営目標として「脱・フツウ」を掲げています。工夫改善に向けて積極的に考えを発信できる土壌を作り、より質の高い仕事をしていきたいと思っています。

Q. 今回事業に取り組むにあたって意識した点はありますか？

「日本でこの仕事をやっているのは西村組だけだろう」というプライドを持って取り組みました。今回こうして特許を取得できたのは、会社のスタッフが実現に向けて動いてくれたからです。特許はアイデアだけあればいいわけではなく、書類作成や実験などを手伝ってくれる仲間がいなければ取れません。今回も他部署の仲間や工務部の若手社員にたくさん手伝っていただきました。「丸となって取り組んだことで、こうして成果を挙げられて良かったな」と感じています。我々の行う事業は、当社が持つ技術が必要としている人の声を聞くことが重要になると思います。今後コミュニケーションを大事にして、漁師さんや地域住民が望んでいることを聞き取り、皆さんの豊かな暮らしづくりに貢献できるように頑張っていきたいと思っています。

採用と、チームと…

Vol.2



執行役員 西村 幸志郎
取締役 兼 経営企画部 兼 採用責任者

こんにちは。西村組の西村幸志郎です。今回「採用」と「チーム」をテーマに執筆していきます。早速質問ですが、少し前からチームビルディングで注目されているキーワード「〇〇的安全性」。この〇〇の中に入る言葉、わかりますか？ 答えは「心理」です。心理的安全性とはGoogleが2015年に公表した、最も大事なものです。心理的安全性をもう少しいいねに表現すると「チーム内でミスをして、それを理由に批判されない」だそうです。あとよく言われるのは「本音を隠さずに伝えられる」です。とは言っても、上司には思っていることなんて言いづらい経営者に自

分の考えを伝えるなんてと思いますよね。でも「誰にも言われていない妄想が自分の居心地の悪さをつくっている」としたらどうでしょう。例えば、あなたは中華料理屋の店主さんです。お客さんにチャイハンを頼まれたのでグリーンピース入りのチャイハンを提供しました。お客さんは笑顔で「うまい」と言いながら食べています。お見送り後にお店の名前をSNSでゴサーチすると、さっきのお客さんが「チャイハンにグリーンピース入れるなんてありえない、潰れる」と誹謗中傷の投稿をしているのを目にしました。店内に写真があるんだからグリーンピース抜いて言っただけなのに、言えはいいのに言わないが積み重なって目に見えない、なんか言いづらいや「言ってもムダ」という雰囲気を作ってしまうんです。今日から勇気出して伝えてみませんか？ グリーンピース苦手だから抜いて。このような投稿を「Twitter」では毎日発信しているので、少しでもおもしろいとか、なるほどと思ってもらえたらフォローしてもらえるとありがたいです。

安全環境管理部

NEWS Vol.2



安全環境管理部 佐藤 朱夏

あけましておめでとうございませう！ 安全環境管理部の佐藤です。今年も安全環境管理部Newsをよろしくお願ひいたします。

さて冬になると誰しも恐れるのが「滑って転ぶこと」ですね。転倒災害は全労働災害のうち20%をも占める身近な災害です。「転ぶくらいどうってことないよ」と思う方もいるかもしれませんが、骨折などの大ケガに繋がることもあり、決して侮れません。というわけで、今回は冬場の転倒防止対策について改めて確認してみよう。

つるになつていませんか？ ヒールをお履きの場合は、支える部分が少なく底も減りやすいので、より一層注意が必要です。思い切つてグリップ力の高い物に買い替えたり、滑り止めをつけたりと安心ですね。

②車から降りる時は特に気を付けよう
通勤時、会社や現場に着いて車両から降りる時につるつと……というケースも多いです。車高の高い車にお乗りの方は特に気を付けてください。

③現場内ヒヤリマップを作ろう
現場では、転んだことのある場所転びそうになつた場所の情報を集めてヒヤリマップを作ると、滑りやすい場所をみんなで共有でき、危険回避に効果的です。

今年の冬も工夫を凝らし、ケガなく元気に乗り切りましょう！





工務部
昭和37年2月28日生まれ

大野 功



- ①40年間西村組で潜水士として勤務できた事。
- ②車中泊で、道外を巡る!!
- ③妻へ～長年、朝早くからお弁当作ってくれてありがとう。これからも、ヨロシク。



工務部
昭和25年5月14日生まれ

中田 和男



- ①何もない素晴らしい年だった。
- ②散歩。
- ③これからもよろしく。



工務部工務課
昭和49年5月23日生まれ

四ノ宮 美紀

- ①27才で結婚し30才で子供に恵まれ、趣味に仕事と家族の協力の下、とても幸せな人生を送らせて頂いています。あつという間に48才…早すぎます。気持ちだけは若いつもりですが、まあ色々ガタついてきています(笑)
- ②今年チャレンジしたいことは写真です。一眼レフのカメラを購入しましたが、残念ながらAUTOでしか撮影したことがありません。キレイな夜景や風景を撮ってみたいです。あと、石磨きたい!(笑)
- ③いつも仕事や趣味に対する理解・協力を有り難う!お互いに体調管理に気を付けて無理せず頑張ってください!ねえねえ、そろそろタバコやめてみない?息子殿へ、貴方のお陰で母は頑張っています!



工務部
昭和25年12月12日生まれ

阿部 正廣

- ①自分をほめてあげたい。良くがんばりました。
- ②魚釣りで大物?
- ③妻へ、愛情弁当有りがとう!



特別顧問
昭和25年3月30日生まれ

成川 和美



- ①とにかく健康に何ら問題なく過ごしてきました。「年より若いね」と言われることもありましたが、それは幻想でした。
- ②元々の腰痛に「しびれ・足の冷え・間欠性跛行(コンビニ内1周で歩行に支障、小休憩で回復の繰り返し)」症状が加わり諸検査の結果、下肢閉塞性動脈硬化症により左足の動脈が90%詰まり血流低下により組織が壊死すると切断もあり得るとのこと。心臓血管外科に転院して全身麻酔により血管内膜の狭窄を除去する2時間30分の手術を受け無事退院しました。動脈硬化が心臓近なら心筋梗塞、脳近なら脳梗塞に至る場合もあり要注意です。野菜中心の食生活や喫煙者の禁煙努力が必要なようです。また、医療機関の選択も大事です。経験豊かなスタッフや設備の充足した病院の選択は必須と痛感しました。仲間の知識経験等は大事です。不安があれば相談しましょう。というわけで、特段の健康管理に努めて参りたいと思います。
- ③それは家族ですね。健康管理にお助けください。



工務部
昭和49年7月16日生まれ

越野 智大



- ①大きな怪我や病気もせずに4回目の年男を迎えることができました。
- ②ダイエット、禁煙。
- ③いつもありがとう、これからもよろしく願います。



船舶機材部
昭和37年3月3日生まれ

鈴木 敏彦

- ①10年前、西村組に転職してから、わからない事が多かったけど、自分なりによくやって来たと思います。
- ②還暦になり、チャレンジしたいことはありませんが、あまり、でしゃばらず、若い人の意見を聞いていきたいです。
- ③結婚してから32年間、ほとんど出張で家に帰らず、一人で家庭を守ってくれた妻にありがとう。これからも宜しく願います。



船舶機材部
昭和49年12月7日生まれ

永井 清司

- ①大きなケガも無く仕事してこえました。
- ②散歩して健康に気を付ける。
- ③いつもありがとう。これからも宜しく願います。



船舶機材部
昭和25年7月15日生まれ

黒田 治夫

- ①健康には本当に注意しました(特に今年)。
- ②自分なりの計画は遅れ気味ですが確実に近づいています(資金等)。
- ③娘へ。お互いたくさん年を取りました。事故等に合わず天寿を全うしましょう。

年男・年女

- ①2021年までの自分について
 - ②今年(2022年)に
 - ③大切な人へ一言
- チャレンジしたいこと



工事部
平成10年6月10日生まれ
野田 銀我



- ①学ぶことが多い一年でした。現場経験年数が3年目になり、工事や工種に対しての理解もできるようになってきました。測量や機械・資材など必要なものを手配するなど、一人で任されることが多くなりました。わからないことがあればまずは自分で考え、それでもわからないことは上司に相談し自分のスキルアップに力を入れることができたと思います。
- ②2021年に引き続き、自分のスキルアップを目指したい。言われてから仕事をするのではなく、自分から気づき行動することを心がけて安全第一で綺麗な構造物を作っていきたいです。
- ③いつも美味しいご飯を作ってくれてありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



船舶機材部
平成10年6月29日生まれ
笹村 彩斗

- ①入社してあっという間に3年が経過。事故や怪我、病気もなく楽しく仕事に取り組んできました。
- ②まだまだ知らないこと、できないことがあるので積極的に挑戦していこうと思います。
- ③結婚してくれてありがとうございます。これからもよろしく!



工事部
平成10年12月24日生まれ
石田 尚輝



- ①これまでの自分を振り返ってみると「やりたいことを好き勝手やらせてもらっていた」という感じです。中学・高校は部活に没頭し、大学は実家の福岡を出て京都へ。大学を卒業して就職先が北海道というように好き勝手生きています笑。自由に将来の選択ができ、私の意見を尊重してくれる家庭環境だったので、両親には本当に感謝しています。
- ②サケ釣りです。自家製のとばを作ってみました。
- ③実家の両親へ。お元氣していますか? 福岡も冬場は寒いですが、どうやら北海道はレベルが違うみたいです。厳しい環境下ですが、体調を崩すことなく元気にやっています。ぜひ北海道にも遊びに来てくださいね。



工事部
昭和61年1月29日生まれ
青山 優樹



- ①今までの自分は仕事にしても私生活にして自分に対して甘い人間でした。最近ではその事を自覚し、自分自身にムチを打てる様努力しています。ですがまだまだなのでしっかり自分を律し、仕事もプライベートも手を抜かず頑張ります。
- ②仕事に関しては今年は余計な事を言っていきたいです。今までは言われた事を確実にこなせる様頑張ってきましたが、これからは自分でも状況を判断し、安全かつ効率の良いと思う事を発言していきたいです。しかし、まだまだ経験不足の自分が言う事は余計な事になると思います。それでも少しでも力になれる様な人間になりたいので、迷惑な事もあるかもしれませんが、余計な事を言っていきたいです。私生活でチャレンジしたい事は肉体の更なる進化です。3年程前からトレーニングをしていますが、理想には程遠いのでトレーニングを積み重ね、肉体美を目指して頑張ります。
- ③まず大切な人と聞き、思うのはこんな自分と10年近く寄り添ってくれている妻です。育児に家事、パートもしている妻を見て毎日感謝しています。これからは自分自身の事にも気を使い、いつまでも健康でいて下さい。あと子供たち。自分には3人の娘がいます。子供たちのおかげでどれだけ笑顔になれたか、成長を見て感動出来たかわかりません。生まれて来てくれてありがとう。



船舶機材部
昭和61年8月3日生まれ
鈴木 浩規

- ①21年度はコロナ渦の中でも病気が怪我もなかったのがよかったと思います。
- ②来年度も引き続き病気、怪我がないよう気を付けて生活できればと思います。
- ③両親へ。これからも元気で病気などに気を付けてください。



安全環境管理部
平成10年7月30日生まれ
佐藤 朱夏



- ①新生活に慣れるべく、とにかく必死に駆け抜けた1年でした。
- ②コロナが落ち着いていたら、念願の沖縄旅行に行きたいです!
- ③キクヨはあちゃんへ: 8回目の年女だね! またみんなでお寿司食べよう。



工事部
昭和49年2月14日生まれ
米田 克幸



- ①何気なく過ごしてきましたが、もう48歳なんだなあっていうのが実感です。色々ありましたが、振り返るといつも誰かに支えられて過ごしてきたことに感謝です。次の年男、つまり12年後には還暦か~
- ②2019年にもう少して制覇できそうなところで断念した「道の駅スタンプラリー完全制覇!」と言いたところですが、コロナ次第ですね。
- ③いつもありがとう、感謝しています。まだまだ子育ては続きますが、家族そろって健康でありたいですね。



工事部
昭和61年3月1日生まれ
山井 政航

- ①西村組に入り、4年が過ぎ、色々なことがありましたが、よくここまで続いたと思います。
- ②お腹が出てきたのでダイエットに挑戦したいです。
- ③いつもありがとう。これからもよろしく。



工事部
昭和61年4月26日生まれ
福原 将太

- ①自粛と貯蓄の日々でした。
- ②出来ないことを出来るようにしたいです。
- ③健康第一でいてください。



工事部
昭和61年8月11日生まれ
藤崎 翔

- ①よく頑張ったと思います。
- ②バイクの免許を取りたいです。
- ③これからもヨロシクおねがいします。



工事部
昭和61年12月8日生まれ
早坂 僚



- ①平凡に生きてきました。
- ②目標探し。
- ③無理せず体を大事にお過ごし下さい。

入社して半年が経ちました



総務部
加藤 智乃進

7月1日より総務部総務課にお世話になっております、加藤智乃進（トモノシン）です。初めましての方もいらつしやると思いますが、どうぞよろしくお願いたします。入社して半年ということ、ありがたいことにお話を伺っていただきました！

入社前から西村組は他社とは一風変わった雰囲気がありました。一番印象に残っているのは、エントリーを「果たし状」と表現していたことです。また、幸志郎さんのラップ「You Be it」は今でもたまに聴いています！入社後も日々の業務の中で変えよう変わろうという皆様から「脱、フツウ」を感じ、私はワクワクしてばかりです！以下の文章では業務の部分と業務以外の部分で振り返り話します。

業務の部分では、日々周りの方々に助けていただき、周りの方々のお仕事に感動し、尊敬し、ワクワクする日々です。本当にいつもありがとうございます。部署の方々に限らず、会社の一員とし

て居るのが当然、とは思わせたくないような素敵な方々ばかりです！私はまだ西村組で何も成し遂げてはいませんが、そこについては自信を持って発信できます！

私自身は冗談にも仕事を「簡単」などと言えたレベルではありませんが、1日1歩精進する気前です。業務を蓄えていきます。私が皆さんと一番関わられるのは現金業務だと思います。旅費の精算や工事資金は私にご連絡ください！

業務以外の部分では、皆さんとの何気ない会話が好きです。私の入社時の自己紹介を読んで、音楽の話振っていただく方もいました。そのお気遣いが新人の私にはとても嬉しいですし、「自分も相手が喜ぶ会話がしたい！」と学びになっています！いつもありがとうございます。私にも後輩ができたらしらうにしたいです。

以上、私からの半年間の振り返りでした。1つ1つのエピソードを具体的に話してしまうと長くなってしまいそうですので、機会がありましたら是非お話ししてください！また、ハートアップディスプレイや朝礼の機会を通じて素敵な皆さんを紹介出来たらなと思いつつ、自分も善いところを沢山盗まねばという所存です。これからもどうぞよろしくお願いたします！

新入社員へ先輩より一言



総務部
石橋 幹奈

お疲れ様です。

入社して約半年が経ち、少し仕事にも慣れてきましたか？

覚える事が多く、時間が過ぎるのが早く感じているのではないのでしょうか？

今はまだわからないことだらけで大変だと思います。しかし、周りの先輩方は何を聞かれても嫌な顔をせず優しく教えてくれるはず！なので、聞きづらいから聞かない。ではなく、積極的に質問していきってください。

私たちは誠実と和の心を持って質問や悩みに答えていきます!!（頑張ります）そして、少しずつ出来る事を増やしていきましょう。

これからどんどん西村組に入れて良かった！楽しい！と思う時が増えると思います。一緒に頑張ってくださいませ！

最後になりますが、北海道の冬はとてつもなく寒いです。風邪を引かないように気をつけて下さい。

船員安全・労働環境取組特別賞を受賞しました

取組の名称：スマートフォン連携タイプのアルコール検知器による酒気帯び状態の把握の管理体制について



国土交通省より令和元年8月2日に「海運分野の新たな飲酒対策」

についてのとりまとめが公表されたことを受け、アルコール検知器を用いた検査体制の導入について検討を行い、令和元年11月にスマートフォン連携タイプのアルコール検知器の導入を行いました。

これまでも簡易型のアルコールチェックカーは使用していましたが、課題として1人作業の場合に確認してもらおう第三者がいらないこと、管理者が日々確認することが難しいことなどから簡単にリモートで確認できる方法がないか検討を行い、タニタ製のアルプロ FC11000という機種を選定しました。

この機種の良い点は測定の精度が高いこと、ID登録を行うことで1台の機種で複数人の測定を行うこと



導入してからの成果として、これまで違反者はゼロであり、作業員の皆さんの飲み過ぎの防止意識が高まったと思います。今後も違反者ゼロを継続し、飲み過ぎ防止と健康の維持継続ができればと思います。

湧別中学職場体験

この度、現場見学会である『湧別地区中高一貫教育第1学年職場訪問(地域巡検)』があり雄武幌内地区コムケ湖養殖場補修工事(ゼロ国債)で、生徒4名(女子生徒3名、男子生徒1名)を受け入れ担当しました。当現場は大學生や高校生にはインターシップとして来場して頂くことはありましたが、中学生は初の試み。学校側からの依頼内容はインタビュ、現場見学、体験などでした。事前に頂いていた質問事項にインタビューで回答し現場内での見学質問、他体験など実施しました。

一番のメインである体験では、実際に現場で使用する測量機械を使ったクイズと、縄跳びを使った知恵比べで建設業という職種を体験して頂きました。

測量機械を使ったクイズは紙に書いてある角度に機械を振つても

らい、機械を覗いた先に暗号が書いてあるというものです。最後はチームワークで暗号から出される人名を当てる!という作業をして頂きました。正解は『コムロマコ』さん、事前に学校から頂いていた自己紹



西村組 西木寸組 コムケ湖現場の皆様
拝啓
秋晴れの日、皆様にはますますのご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、先日はお忙しい中、納材のために貴重なお時間を割いて多くの質問に答えてくださり誠にありがとうございました。
私は、縄跳びゲームを通じて土台を作る大切さを知りました。土台は建築になくはならない存在で、大事な存在であることも知りました。
さらに、外で作業を行う時の寒さや暑さの辛さや、工事が期間内に終わらないかもしれない不安も知りました。家は、漁師が職種が違いますが、仲間と辛さを感じたことがあり、私は仕事は違っても同じ辛さを感じることがわかりました。
この現場見学会で学んだことを、これから先の生活に活かしていきたいと思っております。西村組コムケ湖現場の皆様もお体に気を付けてお仕事頑張ってください。
敬具
令和3年 11月26日
湧別市立湧別中学校
1年A組 岡島 まひる

介カードに、「最近の出来事で興味・関心をもっていること」に「小室圭さんと眞子さんの結婚について」と書かれていたので、時事問題にも関心を持って素晴らしい!ということから『コムロマコ』さんを答えました。
縄跳びを使った知恵比べでは二人ずつのチームに分かれ、時間内に縄跳び4本を高く積み上げた方が勝ちというもので、お互いの戦略が分からないようカーテンで目隠しをしました。縄跳びは持ち手とロープの部分バラバラにしてヨシ、縛ってヨシ、縄跳びのみ使用していれば何をしてもヨシです。チームが試行錯誤でのタワー作り!それを見ている側の職員も、手を貸してあげたいというもどかしさとワクワク感がありました。時間内ギリギリま



でタワーづくりを粘り諦めない姿勢は今後の学校生活や社会人となった時、きっと役に立つに違いな!そう感じられるものでした。
後日、生徒さんからお礼状が届きました。そこには「縄跳びゲームを通じて土台を作る大切さを知りました。土台は建築にはなくてはならない存在で大事な存在であることも知りました」と書かれており、私達はその大事な存在のものをこれからも「人々が安全で安心のできる」もの造りとして常に心していこうと思えます。

網走建設管理部 優秀現場代理人表彰

令和3年11月29日(月)、オホーツク合同庁舎において、網走建設管理部優秀現場代理人表彰の表彰式がありました。



優秀現場代理人に選考された笹岡広道工事が出席し、感謝状をいただきました。

この受賞に慢心せず、安全第一で社会に貢献できるように日々精進し、今後も一意専心努力する次第です。ありがとうございます。

一般土木工部門
工事名・興部地区(沙留漁港)水産流通基盤整備工事(特定)(補正)(翠債)外
受注者・西村・菊地・新島 特定
経常建設工事共同企業体
現場代理人・笹岡 広道



裏表紙に掲載する写真を募集いたします

趣味等の活動中の写真や自分で撮影した景色等の写真、自分の宝物やペットなど、何でも結構です。なおかつメインは写真なので、文章は説明文程度で結構です。

皆様の「美しい」「可愛い」「面白い」写真をお待ちしておりますので、お気軽に投稿してください。

お問い合わせ及び宛先は総務部までお願いします。

親睦会だより

- 結婚祝い 東 一哉(長男)
- 出産祝い 渡辺 勇太(次男 珠生)
- お見舞い 大淵 敏文
- 退職 渡辺 勇太

TOPICS

冬の交通安全運動

今年も冬の全国交通安全運動が11月13日～22日に実施されました。西村組では季節ごとに行われる交通安全運動に併せて、交通安全街頭啓発を実施しています。

運動前日の統一行動日(セーフティーコール)の12日に交通量の多い湧別小学校前で、通学時間に合わせて社員25人が参加しました。悲惨な事故による被害者を一人でも減らすために、この運動の重点事項である子供・高齢者を始めとする歩行者の確保、スリップ事故防止と全席シートベルトの着用、飲酒運転の根絶の重点三点について、この啓発活動を機に皆さんも心に留めていただき、日々の運転をお願いいたします。



《冬の全国交通安全運動目標》

- ・子供・高齢者を始めとする歩行者の安全確保
- ・スリップ事故防止と全席シートベルトの着用
- ・飲酒運転の根絶

社内報 にしむらだより

【NISHIMURA FOUR SEASONS】
4半期毎発行

編集／毛利 祐宏
制作・印刷／(株)電通北海道



北海道紋別郡湧別町栄町133番地の1
TEL (01586) 5-2111 FAX (01586) 5-2700
<http://www.nishimura.co.jp/>

札幌支店／札幌市東区北26条東14丁目1番1号 TEL (011) 752-8200
紋別支店／紋別市港町1丁目 TEL (0158) 24-3413

道東営業所／釧路市錦町5丁目3番地 三ツ輪ビル5F TEL (0154) 25-5669

函館営業所／函館市本町26-18 第2名美ビル TEL (0138) 53-5144

東北営業所／宮城県石巻市恵み野6丁目5番地15 スマイルビル2F TEL (0225) 98-9598

森林保護のため
再生紙を使用しています。